

土曜の夜 ~ 1969 年 10 月 18 日

オリンピア スタジアム ~ ミシガン州デトロイト

前売りチケット購入数 .... 10,783 当日入場者数 ..... 2,137

総入場者数 .... 12,910 入場料 ..... \$62,105

収容人数 ..... 13,375

ショーのチケットはほぼ完売。オリンピア スタジアムは収容人数の {96.5%} で販売。

コンサート出演料

\* レッド ツェッペリン ..... \$25,000 ..... {定額契約保証}

\* グランド ファンク レイルロード ..... \$4000

\* MC5 ..... \$5000

\* リー マイケルズ ..... \$4000

\* マジック ベール ライト ショー ..... \$1250

1969 年 10 月 18 日

「グランド ファンク レイルロード」との取り決めでは、レッド ツェッペリンのブッキング エージェントでもある「プレミア タレント アソシエイツ」の指示により、このラインナップに彼らに加わるようになっていた。プレミア タレント (社長: フランク バルサロナ) は、契約したばかりのバンドに「顔を合わせる時間」を与え、成長中のヘビー ロック バンド「レッド ツェッペリン」とステージと一緒に演奏してもらいたいと考えていた。開演前の取り決めでは、グランド ファ

ンク レイルロードは演奏し、12:00「真夜中」までにステージを降りる必要があった。残念ながら、ステージ クルーが MC5 の機材を撤去し、 グランド ファンク レイルロードのクルーが機材をセットアップした頃には、すでに午後 11:30 になっていた。

午後 11 時 30 分

Grand Funk Railroad の機材のセットアップの最終段階が完了している間に、司会者の Russ Gibb が登場し、いくつかの今後のイベントに関する発表を行いました。Russ Gibb >新しい若いグループを紹介しようとしています。彼らは私たちの地域から来ています。皆さんの中には、すでに彼らのことを聞いたことがある人もいるでしょう。彼らはミシガン州フリント出身です。「On Time」というアルバムをリリースしており、かなり好調です。すでにいくつかのフェスティバルで演奏しています。また、ステージ上に設置されたアンプとスピーカーの壁からわかるように、彼らは大音量のハードロック バンドです。デトロイトの皆さん、準備はいいですか。Capitol Record のレコーディング アーティストの演奏を聞きましょう。ミシガン州フリントから、ようこそ.....Grand..... Funk..... Railroad へ。

グランド ファンク レイルロードがステージに登場

午後 11:32

トリオは、観客を温めるために、テンポの速い 3 分間のヘビー ブルース ジャム イントロダクションで幕を開けました。マーク ファーナー >「私たちはグランド ファンク レイルロードです。フリントから来ました。ここから車で 1 時間ほどです。今夜、デトロイトの皆さんに伝えたいことがあります。準備はいいですか。準備はいいですか。さあ、デトロイト、準備してください。」

そして、彼らは ..... 「Are You Ready」に突入しました。トリオはオープニング ナンバーのあ

と、盛大な拍手を浴びた。

午後 11:39

マーク ファーナー > 「デトロイト、ありがとう。バンド仲間を紹介しよう。フェンダー ジャズベースはメル シャッハー氏。このモンスターを見てください。メルは ドン ウェスト（ウェストラボ）と彼の「フィルモア アンプ」のおかげでパワーを手に入れました。」 「メル シャッハーが 20 秒の短いベース ロールを演奏します。」 「ドラムはドン 'ブリューマスター' ブリューワーとルートヴィヒ氏です。」 「ドン ブリューワーが 30 秒のドラム ロールを演奏します。」 「そして私。マークです。」 「次の曲はアルバム「オン タイム」からのシングルです。チャートを駆け上がっています。ラジオですでお聞きになったかもしれません。「タイム マシン」の時間です。バンドはトップ 50 ヒット シングル「Time Machine」に突入しました。この曲の後、バンドは「力強い」拍手を受けました。

午後 11:44

Mark Farner > 「ありがとう、デトロイト。ここのプロモーターである Russ Gibb、そして兄弟の Jules と Mike (Belkin Productions) にも感謝の意を表したいと思います。ここに連れて来てくれてありがとう。私たちはこの場所が大好きです。」その後、バンドは「Into The Sun」で盛り上がりました。グラッド ファンク レイルロードは、ファンク ブルース ロックの 7 分間のアンセム「Into The Sun」で、オリンピア スタジアムの観客 12,910 人を熱狂させました。観客は皆、曲に合わせて手拍子をしていました。曲のちょうど中間点を過ぎると、マーク ファーナーが メッセンジャーギターを激しく弾きながら、ステージの床にひざまずいてフロア ショーを披露しました。マークは、ギターを激しく弾きながら、完全に体を後ろに傾けました。マークが弾きまくと、観衆は耳をつんざくような歓声で「大声」を上げました。演奏が終わると、マークはギターを左手で空中に掲げ、まるで戦士の剣を持っているかのようでした。オリンピア スタジアムの観衆は、この演奏に

「熱狂」しました。マークはギターを 空中に掲げたまま、右手で弦を弾き始めました。

午後 11 時 53 分

～ 目撃者 ～

マーク・フランゾーン ～ オリンピア・スタジアムのアシスタント・ステージ・ディレクター テリー・ナイト（グランド・ファンク・レイルロードのマネージャー）が若いバンドに、夜をさらって行くように指示したことは明らかだった。グランド・ファンク・レイルロードはウェスト・ラボの「フィルモア」アンプでものすごい音量を出し、ステージ上ではエネルギーに満ちていた。マーク・ファーナーはあちこち動き回っていた。そしてメル・シャッハー（ベーシスト）とドン・ブリューワー（ドラマー）はどちらも非常に有能な演奏者だった。オリンピア・スタジアムは、特に「イントゥ・ザ・サン」の演奏中、わずか 3 曲で盛り上がった。彼らはデトロイトのコンサート客だけでなく、レッド・ツェッペリンを「観るために」そこにいたすべての音楽ファンを感動させようとしていた。サイドステージには、プレミア タレント、コンサート プロモーターのベルキン兄弟（ジュールズとマイク）、司会のラス ギブ、キャピトル レコード、アトランティック レコードの関係者、テリー ナイトと彼のバンドのスタッフ、デイブ ウェスト（ウェスト ラボラトリーズアンプを作った人物）が数人いた。わずか 20 分で、全員（私も含めて）がこの若くてエネルギッシュな男たちにすっかり感銘を受けた。彼らははしゃいでいた。そして、ヘビー ブルースの曲「ハートブレイカー」を演奏し始めた。

午後 11 時 56 分

この時点で、レッド ツェッペリンの 2 人の男たちが「時間」について尋ね始めた。彼らは心配していた。デトロイト市にはコンサートの「門限」があったからだ。彼らは時間を心配していた。彼らの契約書には、演奏しないと「報酬をもらえない」と書かれていて、最低 50 分間演奏しなければならなかったことは事実です。誰が言ったかは覚えていませんが、グランド ファンク レイルロ

ードのクルーの誰かが「終わったら終わりだ」と言いました。この言葉はレッド ツェッペリンのメンバー（「シップヤード グーンズ」のように見えました）にはあまり受け入れられませんでした。グランド ファンク レイルロードが「ハートブレイカー」を演奏し終わると、会場は歓声と口笛で沸き立ちました。テリー・ナイト（私のすぐ隣にいた）は叫んだ。「素晴らしい、本当に素晴らしいよ、ベイビー。このまま続けて。このまま続けて。」

午前 12:03

グランド ファンク レイルロードが 4 曲目を終えたちょうどその時、バンドは次の曲のために楽器の調整をし直していた。ちょうどその頃、レッド ツェッペリンのマネージャー（ピーター グラント）と彼のイギリス人仲間が左サイド ステージ エリアに歩いてきた。彼らは司会者のラス ギブと他の数人のステージ係に話しかけた。彼らはレッド ツェッペリンのためにステージをセットする準備ができたと言った。それからラス ギブと他の誰かがテリー ナイトのところへ歩いて行き、彼に「あと 1 曲」と伝えた。「バンドにショーを早めるように伝えてくれ。彼らに最後の曲を演奏するように伝えてくれ。」そうこうしているうちに、バンドは「TNUC」を演奏し始めた。テリー ナイトはラス ギブに「うん。OK、ラス、分かった。この後、あと 1 曲残っている。」と言った。ドラマーのドン・ブリューワーがマイクに向かって「Yeah, Yeah, Yeah」と叫んで「TNUC」をスタートさせました。この曲はアップビートでエネルギーにあふれたロックンファンクの曲で、長いドラムソロもあったので、この叫びに観客は大盛り上がりでした。ほぼ瞬く間に、フロア席の全員が立ち上がって曲に合わせて拍手しました。そして、200 人ほどの観客がステージエリアに集まりました。そしてライトショーも素晴らしかったです。\* 「TNUC」曲開始から 2 分半で、グランド ファンク レールロードは興奮した観客に熱狂を巻き起こしました。観客の熱気が高まっていくのが感じられました。午後 8 時に始まったこの豪華なコンサートは 4 時間以上も続いていましたが、グランド ファンク レールロードが盛り上げると観客は盛り上がりました。

午前 12 時 8 分

ドン・ブリューワーに交代し、彼が「Red Sparkle」Ludwig ドラム キットを叩きました。スポットライトがドンに切り替わり、ドンはテンポの速いドラム ソロを披露しました。観客は「魅了」された。ステージ左では、マネージメントの全員が、この曲がグランド・ファンク・レイルロードの「グランドフィナーレ」の締めくくりになるだろうと期待して見守っていた。テリー・ナイトと彼のバンドのクルー数人は、彼らのバンドが文字通りステージ上で注目を集めるのを鋭い目で見守っていた。彼らのすぐ隣には、ピーター・グラント、リチャード・コール、そしてレッド・ツェッペリンのメンバー数人がいて、彼らもグランド・ファンク・レイルロードの演奏を見守っていた。彼らはこの曲が彼らの締めくくりで「最後の曲」だと思っていた。マーク・フランゾーン（オリンピア・スタジアムのアシスタントステージディレクター）>ドン・ブリューワーがドラムソロに熱中している間、ステージ左では緊張感が漂っていた。一方には、バンドの魅惑的なパフォーマンスに興奮しているテリー・ナイトがいた。もう一方には、ピーター・グラントとレッド・ツェッペリンのメンバーがいて、バンドの機材をセットアップするためにステージに上がるのを待っていた。ドン・ブリューワーのドラムソロは長く感じましたが、実際はおよそ 4 分半でした。12:13 AM

ドン・ブリューワーは、曲「TNUC」で素晴らしい {4 分半} のドラムソロを終えたところでした。オリンピア スタジアムは大歓声に包まれ、マーク {リードギター} とメル {ベース} がギターに加わり、曲の最後の仕上げを行いました。その後、トリオは曲の最後の 2 分間を演奏し、約 13,000 人の観客から大歓声が上がった。

12:16 AM

フロア エリアの観客全員が立ち上がり、少なくとも 250 人がステージの前方の端に押し寄せた。ステージの端は満員だった。ドン・ブリューワーは「レッド スパークル」ラドウィック ドラム キットの後ろから立ち上がり、マイクに向かって「イエー!! ~イエー!! ~イエー!!」と叫んだ。マー

ク ファーナーはセンター ステージの前方に歩み寄り、左手でメッセンジャー ギターを高く持ち上げ、観客の歓声を先導した。メル シャッターはマイクに飛び移り、「デトロイト、聴こう。素晴らしい。素晴らしい。私たちはグランド ファンク レイルロードだ」と叫んだ。バンドは3分間の素晴らしい拍手喝采を浴びた。

12:19 AM

マーク・フランゾーン > オリンピア スタジアムのアシスタント舞台監督

グランド・ファンク・レイルロードがステージ上でオリンピア スタジアムの観衆から「3分間」の熱狂的な歓声を浴びている間、レッド・ツェッペリンの舞台スタッフは、バンドの機材をステージに運ぶのを緊張して待っていました。ピーター・グラントとスタッフは、グランド・ファンク・レイルロードがステージから退場するのを予想していました。舞台監督のピート・ラグランジもここにおいて、いくつかの調整について彼らと話し合っていました。ステージ左側では、司会のラス・ギブも「フロント・トリオ」が退場するのを待っていました。そうすればステージに出てバンドを見送り、オリンピア スタジアムの観衆に グランド・ファンク・レイルロードに最後の拍手を送るよう頼むつもりだったからです。しかし、トリオはステージを去りませんでした。ステージ左では、マネージャーのテリー・ナイトが糸車のように手を回して、マーク・ファーナーに再び糸を回すよう合図していた。テリーは、観客がざわめいているので、仲間に糸を回してもらいたかった。テリーはバンドに 次の曲「Inside Looking Out」を続けさせたかった。ラス・ギブはテリーを見ると、彼が手を回しているのが見えた。ラスはテリーに駆け寄り、叫んだ。「何をしているんだ。奴らは終わった。奴らをこのクソみたいなステージから降ろせ。」テリー・ナイト 「いやだ、いやだ。奴らにはアンコールがある。あの観客を見てみろ。」それからピート・ラグランジ（ステージ・ディレクター）が何が起きているのかを見て、テリー・ナイトの方へ駆け寄った。ピートは右手でナイトの首を撫でながら、「やめろ。やめろ。奴らを止めろ。」と叫んだ。

午前 12 時 20 分

ちょうどそのとき、グラント・ファンク・レイルロードが「Inside Looking Out」の冒頭に飛び込んだ。5 秒間のリードの後、マーク・ファーナーは次のように歌った。「俺はここで、壊れた男のように孤独に座っている」。ピート・ラグランジ > 「テリー、何をしているんだ。今すぐに、そいつらを降ろせ。」テリー・ナイト > 「そんなわけない。私は彼らを引っ張っているわけではありません。彼らはただ歌い始めただけです。いいえ。」ラス・ギブ > 「このクソ野郎、テリー。」ちょうどその時・・・

午前 12 時 21 分、

ピーター・グラントと彼の手下 2 人が騒々しく近づいてきた。ピーター・グラントは本当に怒っていた。ピーター・グラントは全員に目配せし、全員に聞こえるように大声で言った。 > 「おい、みんな。あのヤンキーどもを降ろせ。」ラス・ギブはピーター・グラントを見て、テリー・ナイトを指差して言った。 > 「テリーだ。あいつはそんなことしない。」ピーター・グラントはテリー・ナイトを見て言った。 > 「今すぐ降ろせ。」元レスラーのピーター・グラントは、身長 6 フィート 4 インチ、体重 315 ポンドの堂々とした体格だった。テリー・ナイトは身長 5 フィート 10 インチ、体重 170 ポンドしかなかった。敵わなかった。しかし、テリーはピーター・グラントを見て、首を左右に振った。テリー・ナイト > 「あいつらはあと 1 曲ある。今、始めたところだ。」彼らに終わらせさせろ」と叫んだ。するとラス・ギブは「テリー、お前は最悪だ。止めろと言っただろう」と叫んだ。門限があるんだ」

12:22 AM

ピーター・グラントがテリー・ナイトの近くに歩み寄った。ピーターはテリーの両肩に手を回した。そしてテリーのシャツを強く掴み、ピーター・グラントに向かって「彼らをすぐにステージから降ろせ」と叫んだ。テリー・ナイトは文字通り恐怖で凍りついた。ピーター・グラントはピー

ト・ラグランジ（舞台監督）を見て、大声で言った。「クソ PA を止めろ」ピーター・グラントは舞台監督のピート・ラグランジの後を追って PA システムのコントロールに向かわせた。舞台上で演奏しているトリオはステージ左で何が起きているのか全く知らなかった。その直後、マーク・ファーナーがマイクに歌いかけていたとき、PA システムがダウンした。

12:23 AM

ドン・ブリューワーは故障で電源が落ちたと思い、グループの代わりにドラムソロに入った。突然、オリンピア スタジアムの観衆は PA システムがダウンしていることに気づき、全員がうめき声を上げました……。ああ !!マーク ファーナーとメル シャッターがステージ左を見ると、ステージクルーの男たちが首に手を当てて、バンドに「カット」を求めています。一方、ドン ブリューワーはまだドラムを叩いていました。

12:25 AM

司会者のラス ギブがステージに歩み出て、グラント ファンク レイルロードのバンドに演奏が終わったことを告げました。マーク ファーナーとメル シャッターは困惑した表情を浮かべていました。ドン ブリューワーはドラムを叩くのを止めました。観衆の大半がゆっくりと「ブーイング」を始めました。ラス ギブは大声で叫びました。「このバンドは途中で切り上げなければなりません。別のバンドを呼び出さなければなりません。」PA システムはまだオフでした。観衆は少し大きな声で「ブーイング」を始めました。その後、ステージクルーが出てきて、グラント ファンク レイルロードの機材を片付けました。これらすべてが、バンドの演奏をまだ楽しんでいた観客に混乱を引き起こし、何が起きているのかよくわからなかった。「ブー」の掛け声は続いた。その後、テリー・ナイトがステージに出て、何が起きているのかアナウンスできるように、ラス・ギブに PA システムを再びオンにするように指示した。

午前 12:30

ステージ クルーがステージ上で Grand Funk Railroad の機材を取り外している間、テリー ナイトはステージ中央で PA システムが再びオンになるのを待っていました。

午前 2:32 > PA システム起動

テリー ナイト >私はグランド ファンク レイルロードのマネージャー、テリー ナイトです。演奏を続けたかったのですが、ショーが遅れています。途中で音がカットされてしまいました。本当に申し訳なく思っています。観客からはブーイングが何度も起こりました。テリー ナイト >私のバンドは演奏を続けたかったのですが、演奏が中止になりました。申し訳なく思っています。次のバンドに登場してもらいたいです。ファンからはブーイングが続き、ステージ近くの前方では多くの人が「グランド ファンク、グランド ファンク」と歓声を上げていました。テリー ナイト >私のバンドは、今夜のサポートに感謝したいと言っています。デトロイトの皆さん、ありがとう。改めてありがとうございます。演奏を終えられなくてごめんなさい。ブーイングが盛り上がり始めた。しかし、テリー・ナイトがステージを降りるとブーイングは消えていった。

土曜の夜 ~ 1969 年 10 月 18 日

午前 12 時 35 分

ステージ クルーはグランド ファンク レイルロードの機材を撤去するために必死で作業し、その間レッド ツェッペリンのクルーはバンドの機材を展開しました。これがステージ上で行われている間、マジック ベール ライト ショーがサイケデリックなディスプレイで再び動き出しました。以前言われていたように、レッド ツェッペリンはステージに上がるまで 1 時間半待ち、グランド ファンク レイルロードの演奏で観客が静まるのを待ったのです。事実ではない >これはテリー ナイトが 明らかにバンドの宣伝をするために作り出した完全な作り話です。事実 >レッド ツェッペリンのクルーとステージ係は、デトロイト市の夜間外出禁止令を懸念して、非常に素早くセットアップしました。彼らは素早く動きました。わずか 25 分で、ステージ クルーは両方のバンドのギ

アを交換し、レッド ツェッペリンのギアをセットアップして演奏の準備を整えることができました。

12:50 AM

司会 - ラス ギブ >オーライ。オーライ。みんな聞いて。オーライ。デトロイト、車輪を回し続けるよ。ショーをやるよ。今夜ここに来てくれて改めてありがとう。ここオリンピアでのショーがまたも完売しました。ありがとう。君たちはロックンロール界の最高のファンだ。> 観客から歓声。デトロイト、聞かせてくれ。行くぞ。聞かせてくれ。さあ行こう。> 観客からもっと大きな歓声。オーライ。オーライ。それが聞きたいんだ。> 観客から轟く歓声。OK、モーター シティ。君たちは彼らの復帰を望んでいた。そして、君たちのために彼らを復帰させた。今日世界最高の「ロック」バンドのひとつを紹介しよう。イギリスから戻ってきました。アトランティック レコードのコーディング アーティストで、全国ツアーを行っている >彼らはここにいます..... レッド ツェッペリン !!!

「偉大な」レッド ツェッペリンが午前 12 時 50 分（日曜日の朝）にステージに登場しました。1 つ確かなことがあります。ショーの開始が遅れたためです。ほぼ有料だった 13,000 人の観客は、コンサートの観客を何人か失いました。マーク フランゾーン（オリンピア スタジアムのアシスタント ステージ ディレクター）によると、「グラウンド ファンク レイルロード が終了した後、観客の約 30% が散り散りになりました。遅い時間で、コンサートは午後 8 時に開始されていました。早く帰った人もいたと思います。5 時間というのは、「古くて汚れた」オリンピア スタジアムの中に 座っているには長すぎます。」 「さらに、ショーには若い子がたくさん来ていました。門限があったので、彼らは会場から出なければなりませんでした。しかし、レッド・ツェッペリンがようやくステージに上がったときには、まだ 8000 人ほどの観客がいました。